



まっまっまっ

Vol.
145

2024.11.1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



濃く色鮮やかな秋バラが満開の中之条ガーデンズ



GGX(ぐんまグリーントランスフォーメーション)※まちづくり

- いつ、どこを歩いてても一人ひとりにとって、小さな発見がある庭
中之条ガーデンズ
- 官民共創で地域課題解決と脱炭素化を実現するイノベーションを創出！

【投稿】「第11回まちづくり講演会」を実施しました

- 【マーチィ'sROOM】**
- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
 - マーチィVOICE まちづくりプレイヤー紹介
 - マーチィの掲示板 群馬県庁インターンシップを終えて

【まちづくりイベント情報】

- 県内で行われるイベントの紹介
- まち'sクリの独り言

※GXまちづくり(まちづくりGX)…気候変動への対応や生物多様性の確保といった社会課題に対する、都市における緑地などのグリーンインフラを活用した取組のこと





いつ、どこを歩いても一人ひとりにとって、 小さな発見がある庭 中之条ガーデンズ

群馬県 都市計画課 (取材協力 中之条町観光商工課花のまち推進室)

令和6年の2月某日に国交省のプレスリリースを確認していたところ、日本ガーデンツーリズムに群馬県の中之条町が登録されたというニュースを発見しました。

正式には庭園間交流連携促進計画登録制度(ガーデンツーリズム)という制度ですが、日本ではまだ17計画しかない先進的な取組に「花と湯の町 なかのじょう」が登録され、中之条町で進められている「花のまちづくり」が評価されたという嬉しい発表でした。

この素晴らしい取組をさらに群馬県の多くの人に知って欲しいという思いから、その代表的な施設の1つである「中之条ガーデンズ」について、「秋のローズガーデンフェア」で忙しい10月初めにまっちゃん〜ずで取材してきました!!

※ガーデンツーリズム登録制度は「地域の活性化と庭園文化の普及を図るため」に平成31年に創設された国土交通省の登録制度です。詳しくは、国交省HPをご確認ください。

(https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_gardentourism.html)

■ 中之条ガーデンズとは？

平成6年に整備された薬草をメインにした民間施設を中之条町が譲り受け、平成25年8月に「花の駅 美野原」の名称で花の公園としてスタートしたことがきっかけとなっている観光ガーデン(庭園)です。

元々農業公園の構想があった場所ですが、四万温泉が近隣にあるという点や草津温泉・伊香保温泉といった群馬有数の観光地ともほど近いという立地から、中之条町の観光のハブとして観光ガーデンを整備する方針に転換。

フラワーパークなどの整備で実績を持つ有識者の力を借り、5年間にわたる大規模改修工事を経て令和3年4月にグランドオープン(この時から有料化)。中之条町の花のまちづくりの拠点となっています。



中之条ガーデンズ 俯瞰図

■ 中之条ガーデンズの特徴

中之条ガーデンズは、無料の花の公園から有料施設としての付加価値を創造し「四季を通じて、訪れる価値のあるガーデン」への転換を図ったことにより、大きく様変わりしました。

7つの庭とファームエリアから構成される施設は行政が管理しているとは思えないほど洗練されており、訪れてみると緻密に計算・設計された庭園であることを随所に感じます。

また、フラワーパークではなく「ガーデンズ」としているのは、花の咲いてない時期であっても見て楽しめる庭園といったコンセプトを基にしており、花の意匠を盛りの時でなくても見てもらうことを大事にしているとのこと。

中でも、ナチュラルガーデンとスパイラルガーデンは、そのコンセプトが強く感じられる設えになっており、人工の庭園というよりは自然をそのまま切り取ったような庭園になっています。



中之条ガーデンズ 案内図





■ 花のまちづくりの中心 「町民花壇」

もう1つの大きな特徴として「町民花壇」が挙げられます。

中之条ガーデンズの総合デザインを監修した方のアイデアで、107区画を一般用として、25区画を親子用として町民に貸し出しを行っています。

なんと、この区画は無料で貸し出ししているどころか、整備に対する支援まで行っているというから驚きです。この「町民花壇」の存在により、町民が中之条ガーデンズに親しみをもち町民共通の資産として愛着を持ってもらうだけでなく、新たなコミュニティの形成にも大きく寄与しています。

官民連携まちづくりでも良く言われることですが、「^{かわりしよ}関わり代」をもたせることにより、交流が広がり、その取組が大きく成長していくことにつながります。この町民花壇も、互いに刺激し合い、花のまちづくりをこの庭園だけでなく中之条町全体に広げていくことを目指しているとのこと。

なお、町民花壇という名称ではありますが、それぞれの区画が独自のテーマに基づき様々な趣向を凝らしているのので、言われてみないと町民花壇とは気づかないクオリティになっています。

また、町の職員が受け持つエリアもあり、それぞれの特色がでた面白い花壇になっていました。是非とも現地でお楽しみください。



上は一般の花壇 下は親子花壇



■ 最後に

中之条ガーデンズは、総勢約50名のスタッフや地域おこし協力隊の方など多くの方々のおかげにより、民間で整備されている庭園に負けない素晴らしい観光庭園として整備されていました。

お土産コーナーでは、庭園でとれたリンゴを使ったジュースや食品など素敵な商品もたくさん並んでいました。今後も食堂のリニューアルを進める予定であったりと、更なる進化が期待できます。

また、ガーデンツーリズムもこれから本格始動していくとのことで、町民が取り組むオープンガーデンの取組や花桃街道の整備等、中之条町はこれからも花のまちづくりを進めて行くとのこと。

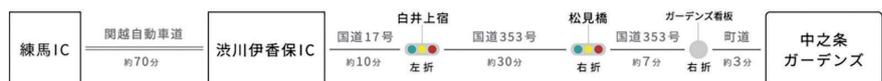
まっちゃん〜ずの力では、その魅力を十分に伝えられませんが、是非ともお時間ある時に足をお運びください。

最後になりますが、お忙しい中取材に協力していただきました中之条町観光商工課の中沢様、高野様本当にありがとうございました!!



中之条ガーデンズには、他にも素敵なギャラリーやファーム、ローズガーデンなど四季で様々な顔を見せる素敵なスポットがたくさんあります！

お車で越しのかた



駐車場について

第一駐車場：54台（うち、障害者用駐車場5台、バス専用駐車場4台）
第二駐車場：95台
第三駐車場：110台

※駐車場内で発生した事故・盗難等につきましては、当園に責任があるもの以外は、責任を負いかねます。施設の確認等、ご自身でのご確認をお願いいたします。

※所要時間はあくまで目安です。交通状況により変動します。

中之条 ガーデンズ
NAKANOJO GARDENS

〒377-0433
群馬県吾妻郡中之条町大字折田2411
TEL:0279-75-7111 FAX:0279-75-7113





官民共創で地域課題解決と脱炭素化を実現するイノベーションを創出！

群馬県 知事戦略部 グリーンイノベーション推進課

■ 地域と共創する脱炭素イノベーション創出事業

群馬県グリーンイノベーション推進課では、官民共創により、地域課題解決と脱炭素化を実現する新たな取組の創出を目指して、「地域と共創する脱炭素イノベーション創出事業」を令和6年度から開始しました。

この事業は、交通や農業、廃棄物など地域のさまざまな分野の課題解決を図りながら脱炭素化にもつながるビジネスアイデアを持つ企業と、脱炭素化と課題解決に取り組みたい市町村のマッチングを行い、県内で実証事業を実施します。持続可能な「地域課題解決」×「脱炭素」の取組の創出を支援することで、群馬県内での脱炭素イノベーションを加速させるというものです。

※グリーンイノベーション…環境と経済の持続的な好循環を創出し、経済社会全体の変革を促し社会の持続的な発展を目指す取組を指す

■ 地域課題のデータベース化

本事業のスキームは、大きく4つの段階に分かれます。

1. 地域課題の把握

事業開始にあたり、まず「市町村の官民共創の機運を高めること」と「県内の地域課題を把握すること」の2点に取り組みました。実証事業を進めるには、市町村の協力が不可欠なため、市町村職員を対象に「官民共創のはじめかた」ワークショップを開催し、官民共創で地域課題の解決に取り組む雰囲気づくりと関心の高い市町村職員との意見交換を重ねました。

ワークショップを通して見えてきた地域課題には、個別のヒアリングなどを経て、課題の解像度を上げて言語化し、その地域課題を企業がビジネスとして捉えやすい形に翻訳しました。翻訳した課題は、企業提案のテーマとなるため、ウェブ上に課題データベースを整備して公開しています。

2. 企業提案の募集・審査選定

把握した地域課題をテーマとして、企業提案の募集を行います。応募のあった提案は、書面や面談による予選審査を経て、最終審査で入賞提案(優勝、準優勝、特別賞)の選定を行います。

本事業の審査委員には、サステナビリティの専門家として著名な夫馬賢治氏(審査委員長)をはじめ、エネルギー分野や脱炭素分野の専門家、群馬県にゆかりのある製造業、小売業、地域金融機関の企業などに就任いただき、多様な視点から審査を行う体制を整えました。

また、予選審査を通過したファイナリストには、特典として「社会的インパクトを学ぶワークショップ」、「共創人材によるメンタリング(2ヶ月)」、「県内市町村との面談」を提供し、最終審査に向けた事業の更なるブラッシュアップと実証事業を見据えた市町村との関係づくりを図ります。

3. 選定した企業提案と県内市町村のマッチング

最終審査で選定した企業提案は、官民共創のオープンイノベーションの仕組みである『逆プロポ』を活用し、実証事業に意欲的に取り組みたい市町村とのマッチングを行います。

この『逆プロポ』は、本事業の受託事業者である(株)ソーシャル・エックスが実施する新しい共創サービスで、企業に関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が課題解決のための企画やアイデアを提案するというもので、従来の公募プロポーザルの流れを逆転させることで、熱意のある企業と自治体が同じ視点で良質なプロジェクトを構築できるという特徴があります。

4. 実証事業の実施、ソーシャルインパクト評価

『逆プロポ』でマッチングした市町村と連携して実証事業を実施します。実施後には、事業成果や社会的意義を可視化し、発信していくためのソーシャルインパクト評価を行います。最終的に作成するインパクトレポート(実証事業のソーシャルインパクトの報告書)では、今後、営業やステークホルダーの巻き込み、資金調達、社内のビジョン・ミッションの共有など多様な目的に活用することが可能です。

■ 虎ノ門ヒルズでキックオフセミナーを開催

企業提案の募集開始に合わせて、令和6年9月13日(金)に虎ノ門ヒルズ駅前広場「ステーションアトリウム」でキックオフイベントを開催しました。会場は「オープンスペースで“未来に” 稼ぐタネが生まれる場所」というコンセプトのもとで設定しましたが、あえてオープンスペースを利用した背景には、2050年カーボンニュートラル実現には、行政や企業だけでなく、市民の巻き込みも欠かせないという思いがありました。イベント当日は、道行く人が足を止め、群馬県の地域課題に耳を傾けるといった様子が見られ、多くの方に地域課題や脱炭素について考えるきっかけを提供できたのではないかと思います。



虎ノ門ヒルズ駅前広場「ステーションアトリウム」で行われたキックオフセミナー

イベントには全国から100名以上の応募があり、キャンセル待ちが出るほどの盛況ぶりでした。群馬県及び5市町村が登壇し、「『製品プラスチック』ごみの排出量を削減し、脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現を目指したい」、「市内でエネルギーを地産地消できる仕組みをつくりたい」といった、まさに脱炭素を推進したいといった課題から、野良猫をテーマとした「猫と住民の争いのない暮らしを創る」という身近な課題まで、計10課題の発表を行いました。

イベントの最後に実施した交流会では、登壇者と意見交換を求める参加者が多く見られ、企業提案の募集に向けて大きなスタートを切ることができたと思います。



キックオフセミナー・交流会の様子。虎ノ門ヒルズ駅前広場にぐんまちゃんも登場★

■ 地域課題解決×脱炭素に向けて

本事業は、今後、企業提案のエントリー、審査・選定、市町村とのマッチングと実証事業に向けた動きが加速します。特に最終審査会(日時:令和7年2月12日(水)、会場:NETSUGEN(群馬県庁32階))では、ブラッシュアップされたファイナリストの提案が公開プレゼン形式で発表されます。いずれも地域課題の解決と脱炭素を実現に期待できる内容になるかと思しますので、ぜひ多くの県内市町村に参加いただき、実証事業のフィールドとして手を挙げていただければと思います。



「第11回まちづくり講演会」を実施しました

公益財団法人前橋市まちづくり公社 まちづくり推進課

前橋市まちづくり公社の主催、群馬県と前橋市の後援による第11回まちづくり講演会が令和6年9月12日(木)に前橋中央公民館ホールで開催されました。当日は会場に一般の方や行政関係者等、70名の参加者が集まりました。

市民団体等が主体となったまちづくり活動の促進、新たなまちづくりの担い手の発掘と育成を目的に本講演を開催しました。

第11回目となる今回は、群馬大学大学院理工学府教授の金井昌信氏を講師に迎え「防災まちづくり～災害対策をUnlearn～」と題し講演をしていただきました。

桐生市出身の金井教授は、災害社会工学を専門とし、災害犠牲者ゼロを実現することを目的に、実践的な研究を行っています。地域住民が地域独自の緊急避難方法を策定する取組や、小中学校における防災教育の支援を行っています。

金井氏からは、防災が重要な社会課題の一つとして認識され、地域独自の避難計画や災害時要支援者の個別避難計画策定、避難所運営方法の検討、災害備蓄など、防災まちづくりの観点から、自治会等の単位で地域防災活動を行い、地域の防災力を向上することが求められている中、これまでの対策の課題を指摘し、「本当に取り組むべきこと」とは何なのかについて、参加者の皆さんと一緒に考えながらご講演いただきました。

印象的だったのは、防災に不正解はあるものの、「唯一絶対の正解」はない、自分自身にとっての正解が、他者の正解とは限らない。ということでした。個別具体的な知識の提供は限界があるため、自分自身に適した対応策は、自分で考えないといけないということです。

また、混同しがちな「緊急避難」と「避難生活」は別物と考え、自分自身で考えて行動しなければならない、ということや、逃げ遅れという最悪な状況から想定し、各自に適した選択肢を複数考えておくということなどを、具体的事例を交えながらご説明いただきました。

今後の防災対策は選択と集中が重要で、本当にやるべきことをやり、やってないことで生じた不利益は受け入れるという覚悟を持つこと、できることを積み上げること、支援や手間が必要なところに集中投資するために「面倒をかけない」ことも協力行動になること、ということも印象に残りました。

参加者の方にとっても、金井教授から問いかけがあったり、クイズ形式で進めたりと、コミュニケーションを取りながら身近に迫る問題を分かりやすくご説明していただき、より理解が深まったと思います。

前橋市まちづくり公社では今後も、講演会などを通してまちづくり活動の促進や啓発事業を進めて参ります。



金井 昌信氏



まちづくり講演会の様子



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「LANDSCAPE DESIGN No.152」 発行: マルモ出版



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



みなさんは、この本をもうお読みになりましたか? 「前橋市の官民連携によるまちづくり」が特集されています。雑誌であり写真も多いですが、じっくりと読みたい一冊です。

本誌の対談で、「著名な建築家が関わった拠点を地域の自然資本である緑や水でつないでいくこと、最終的には地元の人たちだけでまちづくりを手掛けていくのが本来の姿、時間をかけて徐々に良くなっているということが前橋が注目を浴びている理由」とランド・スケープ代表取締役の平賀さんは仰っています。

その緑や水を感じながらまちなかを歩き、マチスタントが関わったお店に寄ってみる。急がずゆっくりと。長い歴史の土台の上にある現在の前橋まちなか。ゆったりとした時間の流れと対比する広瀬川の水量と勢い。心地よく魅了するポイントがいくつも発見できる楽しさ。

興味深い内容の本誌鼎談は、現在の前橋まちなかと照らし合わせることができます。写真の美しさとは現実は相違ないことも理解でき、ぐいっとひき込まれます。

前橋まちなかを歩き、自分がどんな感想を持つのか是非確かめてください。

まちなか散策とセットにしてお薦めしたい一冊です。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

伊勢崎市地域おこし協力隊 皆瀬 勇太



伊勢崎神社えんにちの様子



高校生発案の伊勢崎銘仙クラフトワークショップ

私は伊勢崎市のまちなか(伊勢崎駅から商店街周辺)の活性化と、任期後の起業をミッションに、令和5年4月から活動をしています。普段は「地域の風土を尊重しつつ、よそ者の視点で新しい賑わいを創出する」ことを目標に掲げ、「まちなか謎解きウォーク」や「伊勢崎神社えんにち」、「本町和菓子ストリート」など地域の方々と協力したイベントの企画・運営を行っています。また、まちなかの若者の居場所である「伊勢崎まちなかユーススペース」の立ち上げ・運営も担当しています。

特に令和6年8月に開始した「伊勢崎まちなかユーススペース」は、「まちなか×わかもの」をコンセプトに、空き店舗に悩む商店街の課題と居場所のない若者のニーズを同時に解決するために運営されています。ユーススペースは中学生から大学生までの若者が無料で利用でき、勉強や趣味、おしゃべり、昼寝など、自分の好きなことをして過ごせる場所です。また、協力隊の大人たちがさりげなく見守りながら、若者がやりたいことを実現する手助けを全力でサポートしています。実際に9月には高校生の発案による「伊勢崎銘仙クラフトワークショップ」が開催され、好評を博しました。

このように、若者がまちなかに集まる場所を作り居場所と可能性伸ばす機会を提供することで、活動が地域全体に波及し、街全体が元気になる未来を目指して今後も活動を続けていきます。

【伊勢崎まちなかユーススペース】 曜日: 水・金 場所: スペースKaze様や華々様2Fなどまちなかのスペース
料 金: 学生無料
設 備: お菓子ジュース無料、フリーWi-Fi、ハンモック、クッション、黒板、ホワイトボード、プロジェクター、スピーカー、その他必要なものは要相談
備 考: 曜日や場所は毎月に変換することがあります、最新情報は公式Instagramからご確認ください



ISESAKI.YOUTHCENTER
伊勢崎まちなか
ユーススペース
Instagram

マーチィの掲示板

群馬県庁インターンシップを終えて

筑波大学大学院人文学学位プログラム 井田 惇平

私は8月19日から5日間、群馬県庁インターンシップで県土整備部都市計画課にて実習させていただきました。私は大学で戦後の行政の都市整備に関する史料に触れる機会が多く、インターンシップ以前から都市計画課の業務には興味を持っておりました。しかし今回の実習では、目から鱗が落ちるような発見が次々とでき、都市計画課、ひいては県庁に対する従来のイメージが払拭されていくのを日々感じました。特に、官民で連携した新しい取り組みについてお話を伺ったことで、公務員の仕事のイメージが大きく変わりました。群馬県は時代の流れに合わせて少しずつ生まれ変わっており、そこで働く職員の仕事も変化の最中にあるのだということを強く感じました。業務以外のちょっとしたことについても、5日間都市計画課に通う中で多くの気づきを得ることができました。そして、もし県庁の職員として働くことになったらどのような生活が待っているのか、具体的にイメージすることができるようになりました。今回の経験は就職活動の一つの経験としてだけでなく、今後の人生を歩んでいく中でも生きてくるかけがえのないものになったと思います。お忙しい中大変貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。





まちづくりイベント情報



群馬の森開園50周年記念事業

マルシェ(11月23・24日)、竹をつかって遊ぼう(11月2日・3日)、グリーンスローモビリティの体験会(11月22・23日)、天体観察会(11月9日)、熱気球搭乗体験(12月8日)記念植樹など

■10月20日(日)~12月中の週末を中心に複数回実施。10:00~16:00

■アイ・ディー・エー群馬の森 大芝生広場ほか

【お問い合わせ先】

アイ・ディー・エー

群馬の森

50周年記念事業担当

TEL 027-346-2269



上毛三山スタンプラリー

赤城山・榛名山・妙義山の観光と自然を楽しみながら3つのスタンプを集めると抽選で豪華賞品をプレゼント!

■7月1日(月)~令和7年1月31日(金)

各施設の開館時間による

■富岡市、高崎市、前橋市

【お問い合わせ先】

一般社団法人

富岡市観光協会

TEL 0274-62-6001



富岡市×リアル宝探し

イトマキ探偵トミーの名推理

謎を解き、富岡市内のどこかに隠された「宝」を見つけ出すリアル宝探しイベントです。

■6月28日(金)~

令和7年5月31日(土)

9:00~17:00

■富岡市内

【お問い合わせ先】

一般社団法人

富岡市観光協会

TEL 0274-62-6001



第40回千代田町産業祭

農産物販売、模擬店、町内企業PR、働く車の展示、抽選会など、魅力的なイベントが盛りだくさん!

■11月9日(土)9:00~14:00

■ジョイフル本田千代田店・東側駐車場

【お問い合わせ先】

千代田町産業祭実行委員会(千代田町役場産業振興課内)

TEL 0276-86-7005



路地裏わいわい

毎月第2日曜日はみんなで「わいわい」しませんか? 富岡製糸場すぐそばの路地裏で物販や体験、キッチンカーが出店します。毎月違うステージイベントもお楽しみに!

■11月10日(日)・12月8日(日)※毎月第2日曜日

11:00~16:00

■富岡市富岡 20-23

【お問い合わせ先】

お宿WaiWai

TEL 090-

3316-2597



第23回伊参スタジオ映画祭

「脚本」にスポットをあてるとともに、群馬にゆかりのある作品を2日間で8本上映予定。当日券:1,500円(各日)

■11月16日(土)・17日(日)

10:00~19:00(予定)

■伊参スタジオ公園

【お問い合わせ先】

中之条町役場観光商工課

TEL 0279-

26-7727



「県立公園アイ・ディー・エー群馬の森」でMAYU(電動バス)体験しませんか!

グリーンスローモビリティ体験を通じて、◎人と森の共創で描くサステナブルな未来の創出◎森の恵みを活かした公園の利活用の促進を目指します。(参加費は無料)※下記QRコードより、クラウドファンディングでのご支援を募集しています!

■11月22日(金)・23日(土・祝)

午前の部 10:00~12:00

午後の部 13:00~15:00

■群馬の森 公園内

【お問い合わせ先】

(株)アイ・ディー・エー

官民連携事業推進室

体験会責任者 石田

TEL 080-1394-8018



シンボルタワーイルミネーション ~光のページェントHIKARI MIRAI~

冬季限定のスペシャルイベントです。タワーからの夜景と近くの広場に描かれる地上絵イルミネーションをご覧ください。

■11月23日(土・祝)~

令和7年1月26日(日)

17:00~21:00

※最終入館は20:30まで

月・火は休館。

■邑楽町シンボルタワー

未来 MIRAI

【お問い合わせ先】

邑楽町役場 商工振興課

TEL 0276-47-5026



令和6年度 桐生市景観講演会

森林保全コンサルタントとして様々な国で活動され、現在は桐生市で山村資源の活用に取り組む合同会社バリュー・フォレストの武井沙織氏にご講演いただきます。

■11月30日(土)13:00~15:00(12:30開場)

■梅田ふるさとセンター

(桐生市梅田町5-7568-1)

【お問い合わせ先】

桐生市 都市計画課 景観係

TEL 0277-46-1111

(内線788,789)



総合建設コンサルタント

株式会社 **アイ・ディー・エー**

I.D.A

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関わる広範囲な事業展開

企業理念(STEP)



官民連携事業でお困りの際は、当社までお気軽にご相談ください。

群馬県高崎市倉賀野町4221番地13
TEL 027-384-6600
FAX 027-384-6601
URL: <https://www.ida-web.jp>



県立公園アイ・ディー・エー群馬の森
指定管理者 (令和6年度~)

まち'sクリの独り言



9月1日号からうってかわって、急に涼しくなって驚いたクリ。みなさんは、体調崩してないクリか? イベントが日常として戻ってきて、とっても嬉しいクリね!

行楽シーズン真っ只中で、クリも色々なまちに繰り出して行く予定クリ。美味しいものと一緒に群馬の秋をエンジョイするクリ! 紹介してほしいイベントや取組があったら、マーチに相談してほしいクリ。

クリも一緒に駆けつけるクリよ!!

みなさんも、巷末のイベント情報などを参考に、群馬県をエンジョイするクリよ!

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>

